

「平成30年度に実施した仕事」の振り返りシート

記入日 平成 31 年 4 月 9 日

仕事の内容	放課後子ども教室推進事業			
担当部署・課長名	青少年	課	青少年育成	係 課長名 新海隆弘

この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。	施策番号	1 - 3	-
【施策名】 青少年の健全育成	総合計画書 (ページ)	38	

予算名	款 10	教育費	項 4	社会教育費	目 1	社会教育総務費	事業 12	放課後子ども教室推進事業費
-----	------	-----	-----	-------	-----	---------	-------	---------------

1 この仕事の目的	① 誰(何)を対象にしていますか。 市内各小学校の児童	→	① ①の対象数や量を、あらわすもの(対象指標) 実施校の児童数
	② ①をどのような状態にしたいのですか。[簡潔に] 地域社会の中で、放課後に子どもたちの安心・安全な居場所をつくり、登録者(参加者)を増やす。	→	② ②の状態になった数・量をあらわすもの(成果指標) 登録児童/実施校の児童総数
	③ そのために何をしましたか。 市内各小学校で実施している放課後子ども教室に対して、現場支援、事務処理、連絡調整、スタッフの確保などした。	→	③ ③をどのくらい行いましたか(活動指標) 放課後子ども教室実施校の登録児童数

		単位	平成28年度実績	平成29年度実績	平成30年度実績	平成31年度目標	平成32年度目標
2 指標の推移	対象指標	①の数値	人	4,487	4,498	4,462	
	成果指標	②の数値	%	49.2	49.6	48.8	
	目 標	②の目標値					
		目標値設定の考え方					
活動指標	③の数値		2,210	2,233	2,178		

3 経費	事業費(実績)		円	14,564,445	14,249,322	14,273,206	※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。 人件費(再任用職員以外) 年間単価は、8,244,000円 時間単価は、4,200円 で計算してください。 【算出根拠】平成29年度決算数値。(退職手当組合負担金、共済費も含む。)
	財源	一般財源	円	6,963,445	6,824,322	6,986,206	
		特定財源	円	7,601,000	7,425,000	7,287,000	
		(うち受益者負担)	円				
	人件費(目安)	所要人数(再任用以外)	人	1.0	1.0	1.0	
		所要人数(再任用)	人				
	職員人件費(再任用以外)	円	8,267,000	8,253,000	8,244,000		
	職員人件費(再任用)	円					
	事業費+人件費	円	22,831,445	22,502,322	22,517,206		

この仕事における市の裁量 市の裁量は大きい

4 環境変化	この仕事の開始時期(開始年度)、何を目的に開始していますか。 平成19年度から文部科学省の補助事業としてスタート。放課後や週末等に子どもたちの適切な遊びや生活の場を確保するため、小学校の余裕教室などを活用して、地域の方々の参画を得ながら、学習やスポーツ、文化活動、地域住民との交流活動に取り組む。
	開始当初と比較し、状況の変化はありますか。 平成19年度に第七小学校をモデル校としてスタート後、順次開設し、市内全小学校で実施。平成27年度に文部科学省と厚生労働省が連携して、「放課後子ども総合プラン」が発表され、今までの活動に加え、学童クラブとの一体化または連携による活動を行っている。

仕 事 の 内 容	放課後子ども教室推進事業			
担当部署・課長名	青少年	課	青少年育成	係 課長名 新海隆弘

5 市民等 の意見	この仕事に関して、平成30年度中に寄せられた市民・議会等の意見、また、市民・サービス利用者等の実態やその意識について
	学童クラブとの連携を増やす。

6 市民協働	(1)市民協働の取組を行いましたか。ある場合は、取組手法の種類から番号を選択。（複数回答可）	
	取り組んだ	取組手法 ③⑥ 【取組手法の種類】 ①共催 ②実行委員会・協議会 ③事業協力 ④事業委託 ⑤補助・助成 ⑥情報提供・情報交換（広報媒体： ） ⑦後援・場の提供 ⑧その他（ ）
	(2)平成31年度に向け、さらに適した協働の形態とするための「考え」又は「気付いた」点	

7 課 題	(1)「平成29年度に実施した仕事」の振り返りシート 「7 課題(2)」の内容
	行政・放課後スタッフ・学校・学童クラブ指導員との連絡調整、活動場所やスタッフの確保
	(2)(1)の課題解決に向けた取組や、事務改善など、平成30年度に実施したこと。
	活動場所の確保については、学校との調整。スタッフの確保については、市報に掲載・近隣の大学にポスター等掲示。
	(3)(2)を踏まえた今後の課題
	活動場所の確保、スタッフの確保。

8 今 後 の 方 向 性	(1)仕事の方向性（「7 課題(3)」の課題解決に向けた具体的な改革・改善案など）
	行政・学校・放課後スタッフ・学童指導員との連絡調整の回数を増やす。
	(2)上記(1)の改革・改善案を実現するために、克服すべき問題点、必要な調整・準備等
	(3)改革・改善案による期待成果
	上記(1)の改革・改善案を実施することで、成果面と経費面で現状からどのように変わりますか。

成果	成果を向上させる。	経費	仕事の経費は維持する。
----	-----------	----	-------------